

成田市生活支援・介護予防サービス提供主体等協議体第 11 回会議 会議録

1 開催日時

令和元年 12 月 23 日（月） 午後 2 時 00 分から午後 4 時 20 分

2 開催場所

成田市役所 議会棟 3 階 第三委員会室

3 出席者

(委員)

西田委員、小林委員、山田委員、大木委員、宮崎委員、但野委員、
土肥委員、宮下委員、山根委員、北村委員、
以上 10 名

(西村委員, 山下委員、高橋委員、沓掛委員、野平委員欠席)

(事務局)

木下福祉部長、

平岡介護保険課長、椿高齢者福祉課長

太田主幹兼地域包括ケア推進係長、築比地副主幹、一場主任保健師

田中主査（社会福祉協議会地域福祉係長代理）

高根生活支援コーディネーター（第 1 層）

大麻生活支援コーディネーター（第 2 層）

4 議事（要旨）

○生活支援コーディネーター活動報告について

第 1 層生活支援コーディネーターより報告。「第 1 層生活支援コーディネーター 活動報告及び活動計画について」に基づき説明。

(1) 買い物ツアーについて

(2) いきいき百歳体操サポーター会の育成及びサポートについて

①元気高齢者の活躍サポート事業

②第 2 回なりたいいきいき百歳体操市民大会について

(3) 浦安市介護予防アカデミアの視察について

(4) 今後の活動について

①居場所及び百歳体操の実施場所への調査

②なりたいいきいき百歳体操サポーター会のサポート及び育成について

③買い物ツアーについて

④要支援 1・2 の方における、訪問介護の支援状況についてのアンケートの実施

⑤サロンやカフェなどで、支え合いについての講演

第2層生活支援コーディネーターより報告。「第2層SC活動報告 資料」に基づき説明

(1) 生活支援ニーズ把握

①5 地区井戸端会議

②アンケート実施（自治会、民生委員対象、ケアマネージャー対象）

③サービス立ち上げ支援（買い物バスツアー）

④普及啓発

(2) 会議への参加

(3) 地域活動団体の情報収集

(4) 生活支援サービスの担い手の養成業務

(5) なりたいいきいき百歳体操サポーターの養成及び育成業務

5 質疑等

(1) 買い物ツアーについて

法人として、週1回実施。バス・運転手・ガソリン代等の支出は可能だが、添乗員の配置や、参加者側の希望で日程等の調整することは難しい。（小林副委員長）

第2層の報告で、買い物ツアーが実現したという話があったと思うので、詳しく報告してほしい。（西田委員長）

第2層が実現した困護台地区は、社会福祉法人豊立会に相談したところ、車両と運転手は提供可能だが、添乗できる方を少なくとも3名以上探してほしいという要望があった。あくまで住民主体の支え合いという観点から、民生委員等の地域ボランティアで実施するのが望ましいのではないかと。

ガソリン代、人件費、車両保険も法人が負担してくれた。ボランティアは社会福祉協議会の「ボランティア活動保険」に加入し、利用者には「送迎サービス保障」という保険に加入してもらっている。

台風の影響により、買い物に行けないという方も多く、買い物ツアーに関する相談もあり、実現に至った。

また、周知のため、「買い物支援事業協力」のステッカーを車両や店舗に貼付してもらえないか依頼したが、店舗の意見は分かれている。（第2層生活支援コーディネーター）

豊立会への相談やステッカーについては、成田市からの依頼ということにな

るのか。(西田委員長)

地域住民と法人の関係で上手く実施が出来ているため、市の事業かと問われると、そうではないのかと思う。しかし、様々な手法があり、実際どのような方法が良いか、事故があった場合の対応等、整理する必要はあると考えている。市の方でも、事業自体の整備をしていきたい。(事務局)

その際、留意すべきなのは有償運送法であり、人件費・ガソリン代・予算について補助があると、タクシー業界を圧迫することになる。社会福祉法人は無償であるため、タクシー会社とは競合しない。住民団体に車を提供すること、法人で実施することは問題ないのか、保険会社に聞いたが可能との回答だった。県内のA市では、参加費代を法人が受け取っているが、それは問題ないのかと考えている。(小林副委員長)

大学で協力出来ることがあればと考えているが、バスが足りないこともあれば、人が足りないという事態も想定され、大学だけで対応することはできない。ケアマネージャーの方はどうか。(西田委員長)

ケアマネージャーが買い物ツアーに協力することは難しい。ケアマネージャーも株式会社でやっているため、人件費やガソリン代等、同じような問題が生じてしまう。利用者から直接相談を受ける立場であるため、何かしてあげたいという気持ちはあるが、買い物以外にも掃除、洗濯、ゴミ出し等の生活全般のことや、要支援への生活援助など、課題も多い。(宮下委員)

自分は社会福祉法人のため、マイクロバスを出すことはできる。保険についても、法人の拠点の中で買い物バスツアーをやっているため、法人内でカバー可能、人件費についても同様である。ボランティアについては、地域の中で協力してくれる方を探していくのも1つの手段ではないか。(山根委員)

買い物ツアーは外出することの気分転換の意味合いもあるが、買い物に限ると、「訪問販売で良い」「今はニーズがない」というのが実情である。訪問介護は、新規・要支援の方で様々な依頼があっても、ヘルパー不足で断られることが現状。(北村委員)

ヘルパーは、どこの事業所も人手不足の課題が挙がる。なかなか新しいヘルパーさんも入らない。その中で、ボランティアを引き受けてくれる方がいるか

となると、そこまでの余裕はないと思う。(土肥委員)

「高齢者クラブ連合会」は高齢者の方で構成されており、新規加入者も少なく、市の事業に参加しようにも足がない状況である。そのため、協力ということであれば、買い物ツアーで買い物を手伝うボランティアぐらいはできると思うが、車もなく、80 歳代ぐらいの方が人を車に乗せて運転するというのも、昨今の社会情勢を鑑みると厳しい。(但野委員)

八生地区においても、アンケートをとったが、周囲に頼りたくないという気持ちがあり、近隣の親族に頼んだりしているとのことだった。また、食べ物は不要だが、ゆっくりと自分の着るものを見たい等のオンデマンド交通の利用希望がある。(山田委員)

買い物ツアーの企画を考えると、保険や事故の課題がある。(大木委員)

保険会社によっては、令和元年 11 月に住民が個人の自家用車を利用して送迎するための保険ができています。(第 2 層生活支援コーディネーター)

県内 B 市では、有償で送迎だけを行う NPO 法人がある。買い物支援の必要性を認識しても、どこに相談すれば良いかという問題がある。(大木委員)

それを話し合う場が協議体の中である。システムの構築や情報交換、啓発方法など、アイデアを出していければと考えている。そこから市の方で検討してもらえれば良いのではないかと。(西田委員長)

買い物ツアーは、特定の商業施設に送迎することの問題があり、今のところ市の事業としては考えていない(生活支援コーディネーターがマッチング等を行う生活支援体制整備事業自体は、市の事業である)。個人の意見としては、お困りの方と手助けできる方を主体として、うまくループを創ることが望ましい。(事務局)

協議体でいうと、市での窓口を作った方がいいと思う。どのように啓蒙するかという案はあげているため、市で検討し、他市町村の状況を踏まえ報告をいただき、協議体でコメントをし、ポジティブで負担の少ない方策を検討していただければと思う。(西田委員長)

買い物ツアーについては、市でもあおぞら会の送迎等で保険については問題となっている。保険会社から資料を取り寄せ、実際に話を聞いており、引き続き検討したい。(事務局)

社会福祉法人は、無償で実施したいが、株式会社であれば、人件費とかガソリン代は負担していただかねばならないかと思うので、買物バスツアーの仕組みは一律で決められず、そのグループで決めることになる。なお、県内C市は、市で一律決めている。そのため、株式会社の場合は、住民の合意の上で、自己負担が出る可能性はある。(第2層生活支援コーディネーター)

(2) なりたいいきいき百歳体操サポーター会の育成及びサポートについて(元気高齢者の活躍サポート事業及び市民大会について)

【協議体の検討事項】

百歳体操サポーター20名ほどいるが、NT地区に偏りがあり、遠方の対応が難しいとの意見がある。今後の配置について意見をいただきたい。(第1層生活支援コーディネーター)

地区の人数や今後の増員予定など、具体的な考えがあれば検討する余地があると思う。(宮崎委員)

サポーター養成講座をし、各団体から声掛けをすることはできる。まず、サポーター養成講座を増やすなどしていけたらと思うが、一度整理されたらどうか。(西田委員長)

サポーターの中にも、NT地区に住所があっても、他の地域に行っても良いという人もいれば、車の運転が得意ではないため、遠方は難しいという人もいる。現状のサポーターの中で対応可能か確認してみてもどうか。

(3) 浦安市の浦安介護予防アカデミア視察

協議体への検討事項として、成田市に浦安介護予防アカデミアのようなボランティア団体を発足するには(第1層生活支援コーディネーター)

市職員と第1層生活支援コーディネーターで浦安市へ視察に行った。アカデミアは班で分かれて様々な活動を行っている。実際に、体操班とスクエアステップ班を見学した。体操だけでも30人のボランティアがいる。ほとんどの方が

体操の流れでスクエアステップも行うが、難しいと帰ってしまうため、ボランティアは内容についても考えている。浦安市はボランティアの意識が高く、リーダー講習会を自費で参加しているとのことだった。

協議体として、成田市にアカデミアのような団体を発足するためにはどうしたらよいか検討していきたい。

この団体は市の団体ではないのか。NPO 法人ではないのか。(西田委員長)

ボランティア団体であり、NPO 法人ではないが、市の助成を受けている。(第1層生活支援コーディネーター)

こういうものが成田にあったらいい、という考えを統一できればいいと以前から思っている。団体は、所属が様々であるので、他団体を巻き込めると良い。(大木委員)

大学全体の一部で、いろいろな企画に対し活動する団体を組織化する話が出ている。どこが統制をとるか、ボランティア協議会なのか、手上げなのか。浦安市の最初の立ち上げ状況はどうだったのか。(西田委員長)

最初の立ち上げは、浦安市が介護予防リーダー養成講座の卒業生を中心に、組織づくりを行ったとのこと。(第1層生活支援コーディネーター)

そうすると、成田市も百歳体操等の市民大会でそのような案内を行うのが有効ではないか。まずは、サポーター養成における連携など検討を進められると良い。

(4) 今後の活動について

- ・居場所及び百歳体操の実施場所についての調査
 - ・百歳体操サポーター会のサポート及び育成について
 - ・買い物ツアーについて、第2層が1名のみ配置のため、第1層が他圏域の対応をしている。情報があれば連絡が欲しい。
 - ・要支援1・2の方における訪問介護の支援状況についてのアンケートを実施
 - ・サロンやカフェなどで、支え合いについての講演
- (第1層生活支援コーディネーター)

今後の活動について要支援1・2に限らず、要介護の生活援助も同じような問

題を抱えているので、同様に生活援助を考えて欲しい。(宮下委員)

成田地区を中心に報告。独居高齢者及び高齢者世帯の生活上の困りごとについて、ゴミ出し、買い物、それ以上に通院、院内介助が多い。移動支援のオンデマンドや移送サービスの予約が取れない。子どもから高齢者の集える場所や話し相手の希望がある。今年度中には、再度、各地区で井戸端会議を実施し住民と解決に向け考えたい。(第2層生活支援コーディネーター)

今日はたくさんの意見をいただきありがとうございました。今日の話し合いの中で、買い物ひとつをとっても、地域のニーズも異なり、買い物バスツアー、訪問販売の希望もあり、法人主体や住民主体の助け合いの場合と、それぞれの提供の仕方によっても課題があり、検討の必要がある。また、保険の部分も意見を頂戴し、それを含め、生活支援体制整備事業のそれぞれの活動、地区で実施している活動の位置づけをもう一度しっかりと整理していきたい。また、浦安市の取り組みの紹介もあったが、介護予防に関しても、健康増進課、介護保険課、ボランティア連絡協議会など、それぞれ所管するボランティア組織があるが、生活支援体制整備事業のなかで市も共に考えたい。

協議体の場は多様な代表の皆様に出席いただいている。それぞれの団体で、いろいろな住民のニーズや地域の課題などを把握していると思うが、そのひとつの団体・事業所にとどめることなく、その情報をこの場に持ち寄っていただき、この場で検討することで、地域づくりを推進していきたい。来年も生活支援コーディネーターから情報を市に挙げてもらい、それを集約・提示させていただき皆様とこの協議体の場で検討していくので、よろしくお願ひしたい。(事務局)

6 傍聴 なし